

漁海況情報第9報 (2019年12月10日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0139

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

表面水温は平年並から1℃高め、水深100mでは38°Nの142°E付近に冷水塊がある一方で、142°30'E以東には暖水が波及し、平年より2℃高めとなっています。

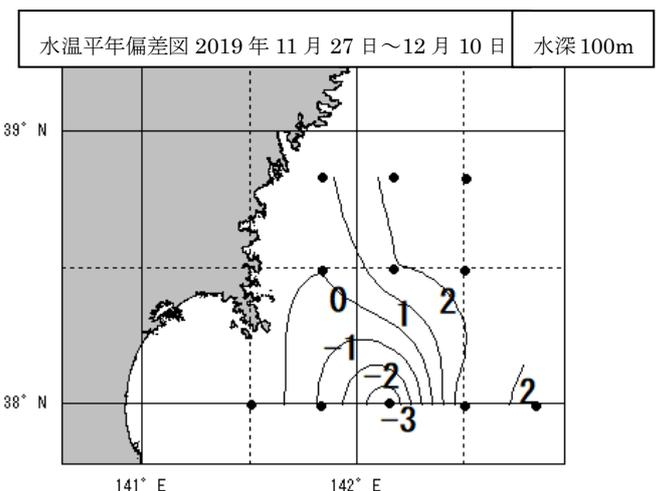
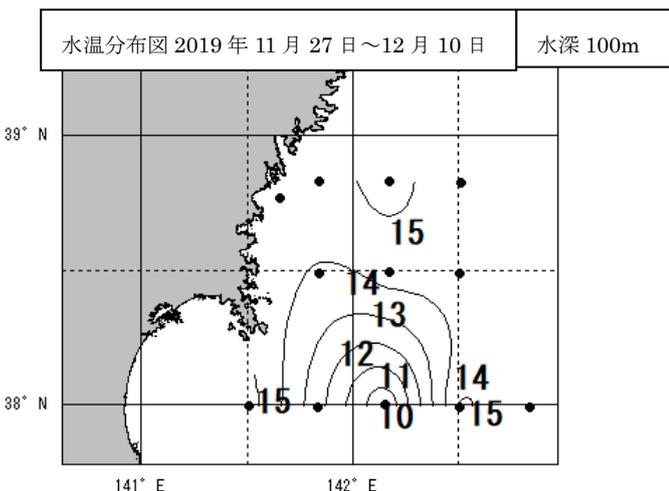
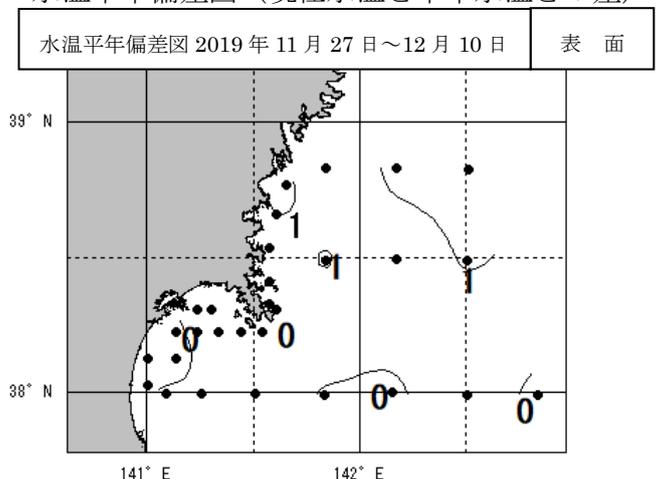
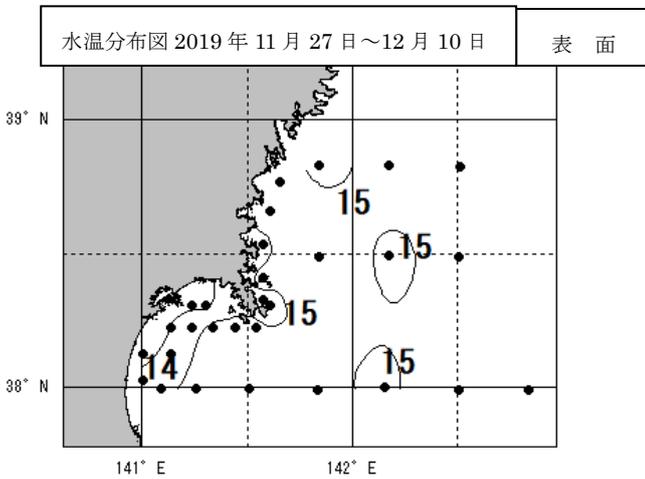
宮城県沿岸の表面水温は13～15℃台、100m深水温は9～15℃台となっています。表層水温は平年並から北部海域で所により1℃高め、水深100mでは38°Nの142°E付近に冷水塊があり3℃低めですが、142°30'E以東には暖水が波及し2℃高めとなっています。[P1. 水温水平分布図] [P1. 水温平年偏差図]。鉛直断面図からは、38°Nラインの142°E付近の冷水塊が見て取れます。また全体的に、水深100m近くまで鉛直混合が進んでいます。[P2. 水温鉛直断面図]。

(一社) 漁業情報サービスセンター表面水温情報によると、親潮第一分枝は襟裳岬沖南南東80海里まで南下、道南沖からも冷水が南下し下北～田老沖は低温となっていますが、岸寄りの北上暖水が志津川沖東30海里で停滞し、沖合を北上する暖水が岩手沖で暖水塊を形成しています。[P2. 東北海域の海況図：(一社) 漁業情報サービスセンター]。

12月上旬の定地水温は8～15℃台で、歌津・江島でやや高め、その他の観測点で平年並です。[P3. 定地海洋観測図]。海底直上水温は8～15℃台です [P3. 海底直上水温図]。

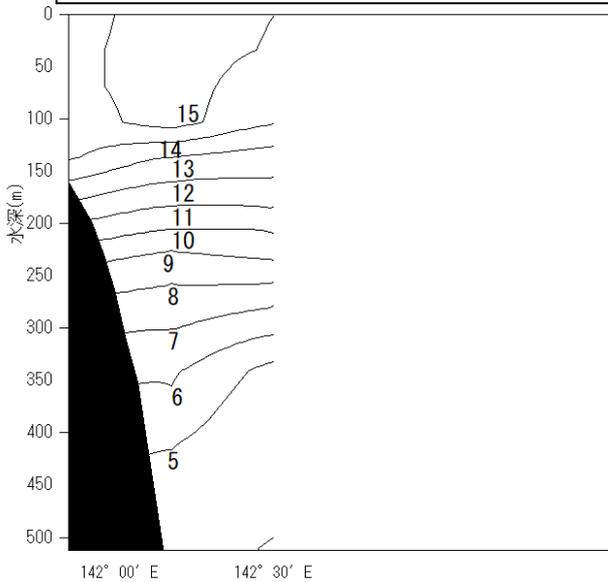
・水温水平分布図

・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)

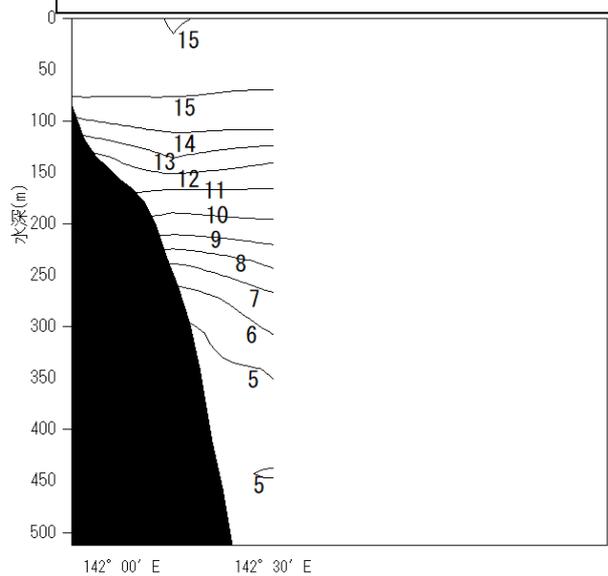


・水温鉛直断面図

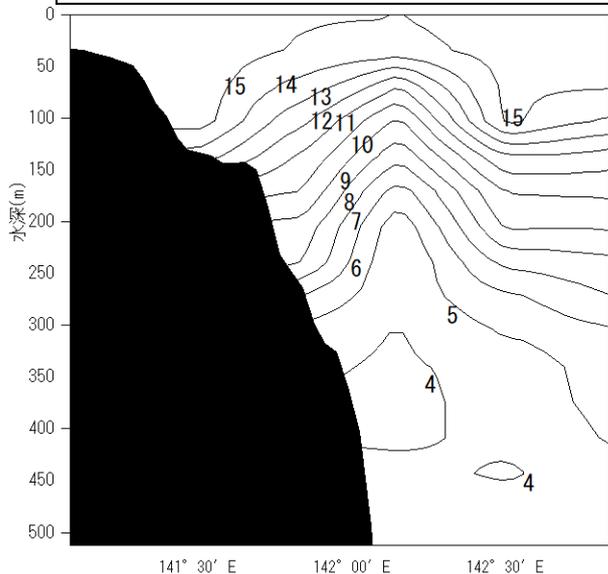
38° 50' N ライン (気仙沼沖合ライン)



38° 30' N ライン (雄勝沖合ライン)

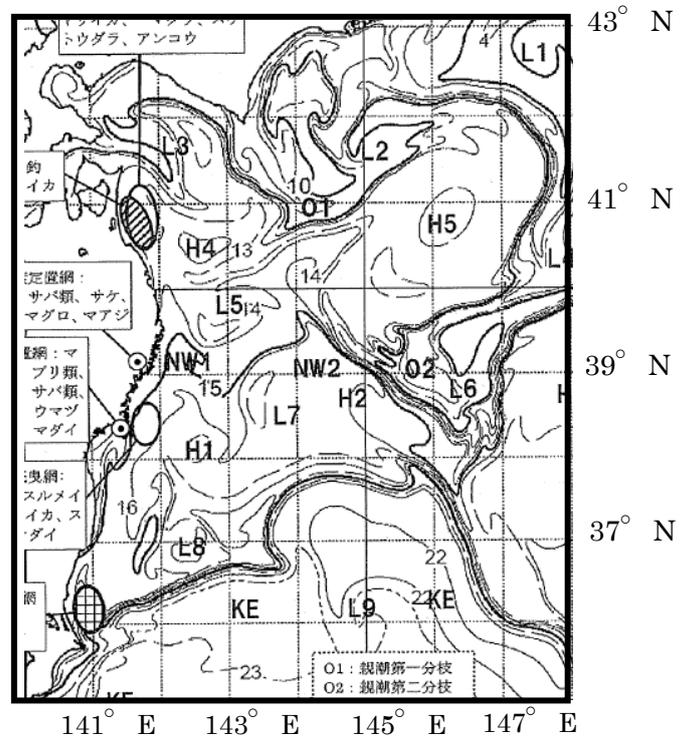


38° 00' N ライン (亶理沖合ライン)



2019年12月5日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

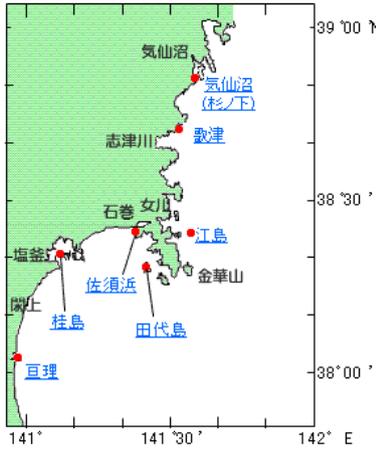
【海況】 (12月5日表面水温)

- ・親潮第一分枝 10°C以下は襟裳岬沖南南東 80 海里まで南下、10~12°C台の冷水が久慈沖東 20 海里に接近。
- ・道南沖からも冷水が南下し、下北~田老沿岸は 12~13°C台に降温。
- ・宮古~大津沿岸を 14°C台の混合水が南下。
- ・黒潮続流は相馬沖まで北上した後、南東へ流去。
- ・岸寄りの北上暖水は志津川沖東 30 海里で停滞。
- ・沖合を北上する暖水は岩手沖を北上し、暖水塊を形成。

【漁況】 (12月3日~5日)

- ・まき網：時化のため2そう巻網のみ鹿島沖でイナダなど漁獲。1そう巻網は12/5夜操業、福島沖でマサバ 9000t 程度を漁獲、水揚中。
- ・定置網：三陸定置網はブリやサワラが好調。暖水接近し暖水性魚類が増加。
- ・サンマ：南下して 12/1 夜から那珂湊沖が主漁場。小型魚がやや増加、粗脂肪量は平均 13%に減少。
- ・スルメイカ：時化のため低調。八戸の釣りや底曳網が少量水揚。
- ・秋サケ：11/30 現在、岩手は前年比 18%に激減。

・定地海洋観測



	12月上旬		平年差	前年差
気仙沼(杉ノ下)	13.5	平年並み	0.5	-1.3
歌津	14.3	やや高め	1.2	-1.3
江島	15.0	やや高め	1.0	-1.0
田代島	13.5	平年並み	0.4	-0.5
佐須浜	12.5	平年並み	0.2	-0.8
桂島	8.4	平年並み	-0.6	-1.2
巨理	11.6	平年並み	-0.3	-1.2

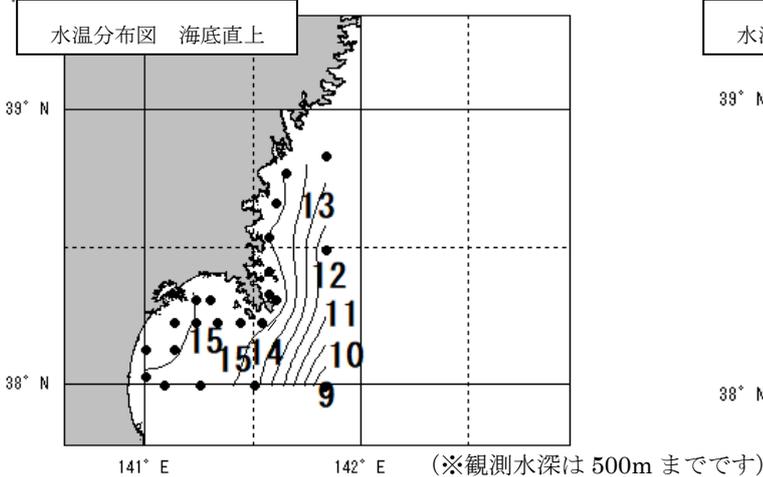
※平年値 岩井崎(過去30年)
 江島(過去30年)
 佐須浜(過去10年)
 歌津(平成28年12月から観測再開)
 桂島(平成24年3月から観測開始)
 巨理(平成24年10月から観測開始)

※最新の定地海洋観測結果は,

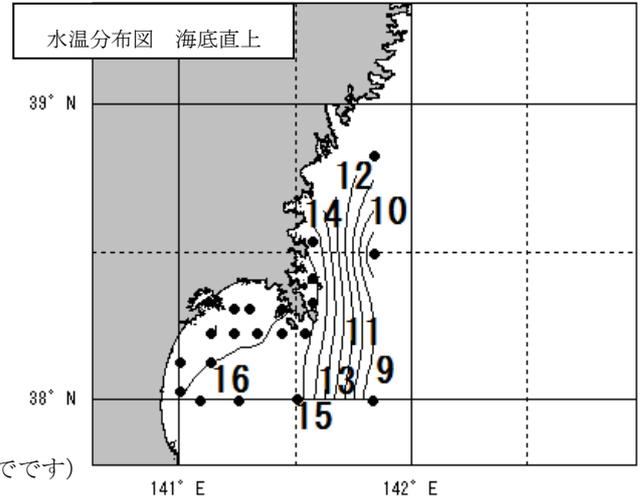
<http://www.miyagi-suisan-navi.jp>でも公開中です。

・海底直上水温図

7・海底直上水温(2019年11月27日~12月10日)

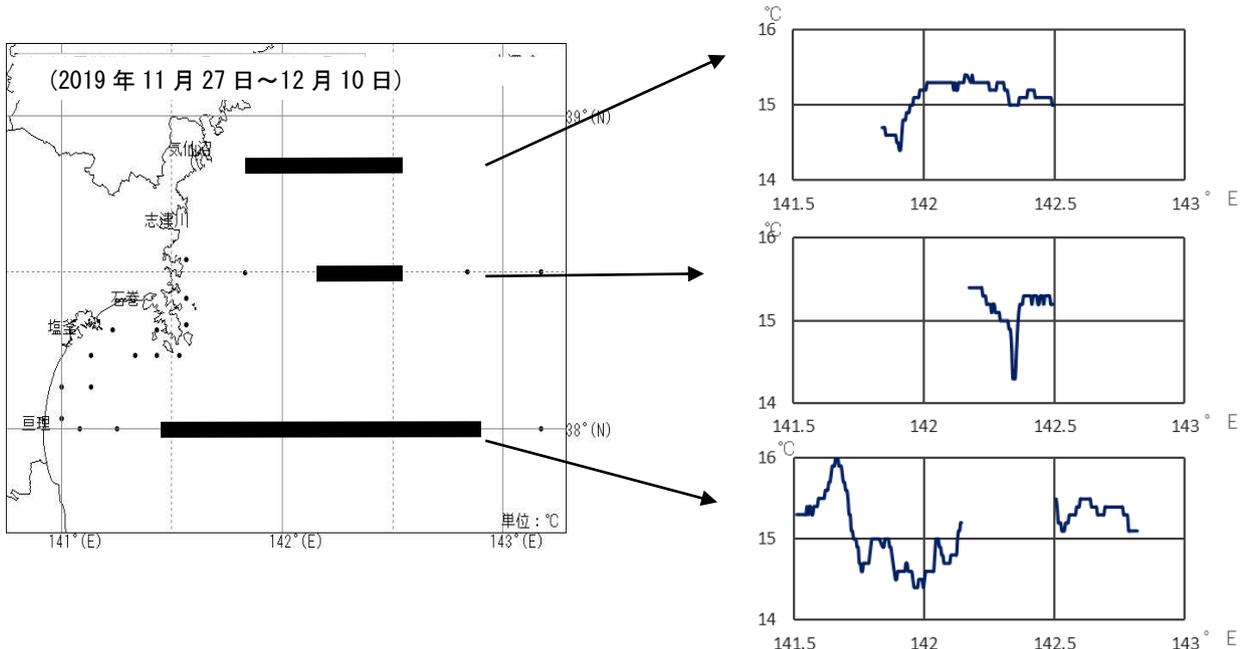


・海底直上水温(2018年11月26日~28日)



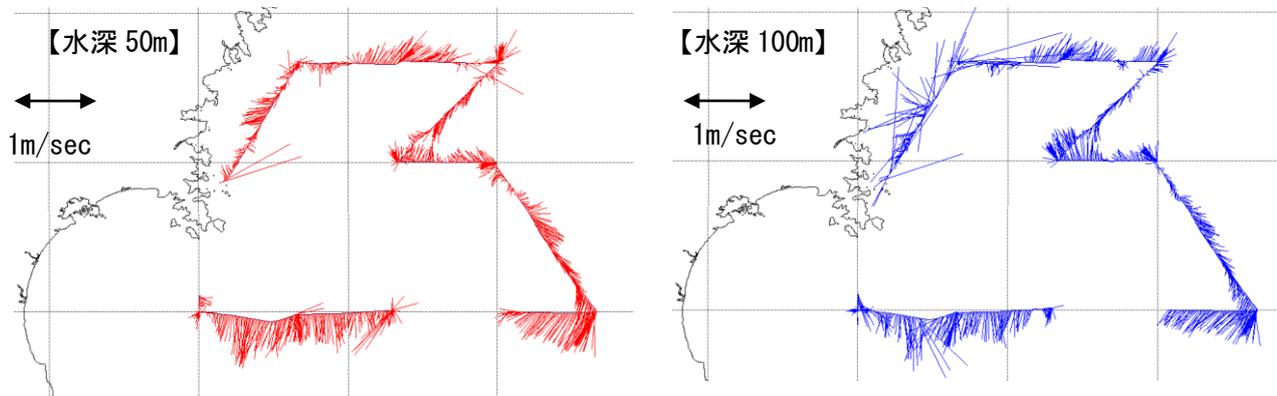
2. 表層水温情報

みやしおに搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記の通りです。



3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」による流向流速情報は下記のとおりです。



4. 漁況

11月の水揚量は前年と比較して、カツオ、カタクチイワシ、キハダ、サワラ、ブリなどが増加しています。シロサケ、マイワシ、タラ類、カレイ類などは減少しています。(単位: トン)

2019年11月	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網	いか釣り	延縄	流し網	その他	総計	前年同月比
ピンナガ					6				75	1	1	83	73%
メバチ									415		2	417	99%
クロマグロ						2				1	0	3	51%
キハダ					1				18	0	0	19	295%
カツオ					1017				0	0	1	1018	1291%
サバ類	1751	9	7086			49	3				3	8900	119%
マアジ	3	1	0			11	0				1	16	50%
サンマ				6288							2	6290	68%
ブリ	6	3	117			418	4				24	572	151%
ヒラメ	2	23	0			3	11				3	42	67%
マコガレイ	0	16	0			0	1				1	19	36%
マガレイ		3	0			0	0				0	3	41%
ハバガレイ	1	0	0			0	0				1	2	52%
スルメイカ	200	4	0			2		0			0	207	44%
ヤリイカ	267	28	0			3		0			1	298	68%
マイワシ	0		88			39					6	133	5%
カタクチイワシ						168					4	172	2604%
ガザミ		1				1	14				28	44	90%
マダラ	22	0				0	0		1		5	27	40%
スケトウダラ	1	0					0		0		0	2	42%
サワラ	3	0	1			31	23		0		4	62	174%
シロサケ	4	0				52	7				51	113	17%

※0は1トン未満を示しています。

5. 調査船運航計画

みやしお
ドック入り
開洋
ドック入り